

平成 27 年度 研究計画書

Research Plan FY2015

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジアⅡ講座・准教授
氏名 Name	加藤昌彦
専門分野 Academic Field	言語学

平成 27 年度 研究計画 Research Plan FY2015

主たる研究テーマ Principal Research Subject	ポー・カレン語及びビルマ語の記述研究				
研究計画 Research Plan	<p>今年度の研究テーマを次に列挙する。</p> <p>(1) ポー・カレン語の動作主非焦点化の研究---ポー・カレン語には「物」を表す名詞 /ch@/ が主語位置に立ち、実際には物ではなく人間を指示する用法がある。例えば、日本語の「彼は殺された」に意味的に対応するポー・カレン語文にはこの名詞が現れる。その文を日本語に直訳すれば「物が彼を殺した」となる。ここで「物」は人間を指している。これまでの私自身の研究により、主語名詞として現れた /ch@/ は agent-defocusing (動作主非焦点化)の機能を持っていると一般化できることが分かっているが、まだデータの量が十分とは言えず、その具体的用法についてはさらなる検証が必要である。今年度は、より多くのデータを様々なテキストから採取し、用法の分析を精密化することを目標とする。</p> <p>(2) ビルマ語初級文法の効果的教育法に関する研究---現在、ビルマ語の入門書を執筆中である。入門書において文法項目の配列やビルマ文字の導入にはどのような工夫をするべきかを考える。</p>				
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research	言語学	日本語学			
キーワード Keywords	カレン語	ビルマ語	東南アジア諸語	TB 諸言語	